

令和8年度 第1回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日 時: 令和8年5月 25 日(月) 13 時 30 分～15 時10分

(内 学習会: 14 時40分～15 時10分)

会 場: 瑞浪市役所西分庁舎1階会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、深津隆、小木曾千恵子、浅沼克郎、野田順子、中山千鶴、
後藤宮樹、大竹悦子、渡邊実千代、安藤瑞扇、山内賢人、鈴木実千江、
渡邊喜美代、
(欠席: 山下千尋、鈴木勝、安藤友美、宇井壮五)

〈事務局〉 市民協働課長 奥谷ひとみ

市民協働課人権啓発係 三浦和恵

議 事: (1) 令和7年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について
(2) 令和8年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について
(3) その他

内容

(進行: 事務局)

1. あいさつ(座長)

ご参集くださいましてありがとうございます。

今日は、昨年度の活動報告、今年度の活動計画、そして10月10日の市民講演会について、皆様よりお知恵を集めて、進めていきたいと思います。

お手元に第6次男女共同参画基本計画と女性の活躍推進法の資料をお配りしました。この資料について説明します。女性の活躍推進法が改正され、資料の最後のページに、「職場における女性の健康支援」という項目があります。4月1日施行ですので、3月くらいに私はこの資料を見て、瑞浪市は女性の健康支援について国が取り組む前に考え始めており、なんと先進的な市だと思い嬉しくなりました。もう一種類の資料は国の男女共同参画基本計画の資料となりますが、第6次男女共同参画基本計画が令和8年3月13日に閣議決定されました。第4分野に「生涯を通じた男女の健康への支援」という項目があります。こちらも、男女の健康への支援というもので、私たちが前回話し合っていた内容が反映されています。10月の講演会の時には、国でもこういった取り組みが始まっていることを、地域へ広めていただき、瑞浪市は先進的であることをお伝えしていただきたいと思います。今日もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

2. 議事

(1) 令和7年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について

(座長) 事務局より説明願います。

(事務局) 資料に基づき説明

(座長) ありがとうございました。何かご質問等がありますか。ご質問がないようですので、議事(1)は承認されました。次に移ります。

(2) 令和8年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について

(座長) 事務局より説明願います。

(事務局) 資料に沿って説明

(1) 推進会議(4回程度)

第1回 令和8年5月25日(月)

第2回 令和8年7月～8月頃

第3回 令和8年10月10日(土)(講演会終了後)

第4回 令和9年2月頃

(2) 推進会議参加者学習会

日 時: 令和8年5月25日(月) / 第1回推進会議終了後

第1部

内 容: 瑞浪市の健康づくりの支援について

担 当: 瑞浪市健康福祉部健康づくり課 日比野係長

第2部

内 容: 「講演会に向けて」全体ディスカッション

担 当: 渋谷座長

(3) 市民講演会

日 時: 令和8年10月10日(土) 午後1時30分から

会 場: 総合文化センター 3階講堂

テーマ: 健康に関すること

講 師: 一般社団法人リンコス 彦田かな子氏

演 題: 仮称「男女共同参画社会 がんと健康について考えよう

暮らしはどうする? 仕事はどうする? 人生はどうする?」

定 員: 80名

(座長) ありがとうございます。

本日は1つ目に演題を決めること、2つ目に「講師の方に話していただきたい内容」をだしていただくということです。3つ目の市内事業者は今のところ見つかっていないということです。情報がありましたら、その都度伝えていただくということでお願いいたします。

1点目と2点目を合わせて考えていきたいと思います。

(参加者) 講師の方はどういった方ですか。プロフィールが分かればお聞きしたいです。専門的な知識のある方か、どういう知識をお持ちの方かお聞きしたいです。

(座長) 講師のプロフィールがあるといいですね。

(参加者) がんの方や医療関係者の方が集まる会でお話をしてくださった方です。ご自身も乳がんになり、がんになった後の家庭のことも含め、もっとがんのことを知ってほしいということで、名古屋でお話されたり、去年は中津川市でお話をされました。私も中津川市で話をお聞きしました。

(参加者) 医療関係者ということではなく、ご自身もがんになられて、その経験をお話してみえる方ということですね。

(座長) 当事者の方ということですね。一般社団法人リンコスに所属されてみえる方ですね。

(参加者) そうです。瑞浪でぬくたあカフェという集まりに参加されて、それからリンコスをつくられました。

(参加者) そうすると、この方は、がんになり周辺の方のサポートを受けられ生活された話もしていただけるということですね。

(座長) 彦田さんは当事者であること。今は〇〇市にお住まいということです。何かご提案はありますか。知り合いをお誘いする時にテーマは大事です。例えば講演の内容で、支援先のことを話してほしいというようなリクエストがあれば出していただきたいです。

(参加者) 支援先、家族や周囲の方がどういう状況になるかお話していただけるといいかなと思います。

(座長)ご自身の体験から困ったことや家族など周囲の方がどのような状況になるのか、また支援先などですね。

(参加者)資料にあるように、困ったこと、暮らしはどうなるのか、仕事はどうなるのか、人生はどうするのか、全部聞きたい内容です。

(座長)そこを話していただきたいとお伝えすればばっちりですね。ありがとうございます。〇〇さんお伝えしていただけたらいいですか。

(参加者)質問があればそれに対してお話していただけたらと思います。

(座長)事前にこういった内容をお話してくださいとお伝えしていただければ、話していただけますよね。私も講演する時には、事前にこういった内容を話してほしいと聞いておいたほうが皆さんが聞きたい内容をお話できるので、安心してお話することができます。聞きたいことの中には答えられないものもありますので、そういった時は、「私の中では難しかったです」とお答えすることもあります。全部話さなくてはいけないということはありません。

(参加者)講師の方にお伝えします。

(座長)事務局と連携し上手に伝えてください。よろしくお願いします。リクエストや演題について何かご意見はありますか。地域の方をたくさん誘っていただきたいので、皆さんが振り向いてくれるようなテーマがいいと思いますが、どうですか。

(参加者)彦田さんの YouTube 動画があり、講演内容を紹介している動画を拝見しました。この方は女性特有のがんである乳がんの宣告を受け、自分なりに決断をするというところで、家族のことはもちろんですが、ある著名なドクターと知り合い、知り合ったことから、がん哲学外来メディカルしゃちほこ記念カフェのリーダー的な立場となり、その後一般社団法人リンコスを立ち上げられたと記憶しています。明るく、テンションの高い、内面の裏返しかもしれませんが、そういう感じの講演をしてみました。男女共同参画社会推進会議の講演会ということなので、女性のことはたくさんでてきて分かりやすいですが、男性の観点からどんな風になんか教育を考えていけるのかというところが分かりにくいと感じました。この方はがん教育を親身になってやってみえるので、がん教育という言葉は入れた方がいいと思います。がん教育というタイトルだけを変えない方が、講師の方も話やすいのではと思います。どんな内容がいいのか、キーワードを考えてみましたが、講師の方が伝えたいことがあると思うのでそれを崩さない方がいいと思いますが、男女共同参画社会との繋がりを鮮明に出してほしいと思います。この方は、哲学外来やリンコスと深く関わってみえるので、具体的な例をたくさんもってみえると思います。そのあたりを織り交ぜて組み立てていただければ、男女共同参画社会推進会議が行った講演会としては、まるがもらえるのではないかと思います。

(座長)有意義なご発言をありがとうございました。いかに男女共同参画社会のテーマと繋いでいくということですね。先程、国の計画をお話しましたが、瑞浪市の計画ではどこに当てはまりますか。

(事務局)第3次みずなみ男女共同参画プランの基本目標Ⅱ「健康で安全・安心な暮らしができるまちづくり」の課題②「生涯を通じた健康づくりの支援」の中に「女性の健康づくりに関する支援の充実」という項目に当てはまります。

(座長)今日の学習会はその内容を話していただけたらいいことですね。

(事務局)そうです。

(座長)瑞浪市の計画の中にも入っていることを講師の方にも伝えていただき、〇〇さんが提案をくださったように、いかにがん教育と男女共同参画社会の実現をつないでいくかということです。「がん教育」という言葉は皆さんどうですか。テーマにがん教育と入れることはどうでしょうか。

(参加者)いい提案はできませんが、「がん教育」と言われると、乳がんはどういうものか、胃がんはどういうものか、がんについてのお話だというイメージを持ってしまうます。ですから、「男女共同参画社会 がん教育」とすると医学的なものとなってしまう気がしますがどうでしょうか。

(参加者)この方のお話の中で「本音・本質・本気」というキーワードがでてきます。本音はがんと聞くと

死をイメージする不治の病であり、怖くて大騒ぎしたと言ってみえました。がんについて、本音で言えることが大事だということ。本質はがんを正しく理解する、正しく捉えるということです。本気はがん哲学外来メディカルしゃちほこ記念カフェや一般社団法人リンコスと関わり、中心になってやることで、本気でがんやがん治療に取り組むといったことのようにです。知り合いに抗がん剤を打ちながら仕事をやってみえる方がいます。がんだからもうあなたの命は終わるのではないという認識を私はその方から学びました。他にも抗がん剤で毛がぬけるのでウィッグを開発し、もっと買ってもらえるような魅力的な商品に開発をするなど起業家として活躍している人もいます。

(参加者) 演題の提案ですが、いろいろなことをひっくるめて「がんと人生」というのが、わかりやすいのでしょうか。がん教育というのは、ちょっと難しい話になってしまうような気がします。「がんと人生」だといろいろなものをひっくるめての話になるような気がします。

(座長) そこに男女共同参画社会の視点を入れればいいですよ。例えば、極端な話でいくと、男の人は、経済力をつけないといけないのがんになっても仕事を続けて頑張ることになりますが、女の人ががんだったら、起業家みたいな余分なことをしないで家族のことをやりなさいというのではなく、一人一人が、自分の夢を実現し、病気になったとしてもできるという視点が、先ほど〇〇さんが教えてくださった内容かと思います。そういう視点でお話してもらえると嬉しいです。女性だから男性だからという視点ではなく彼女の人生としてやれることをやっているということです。

(参加者) 一見すると男女共同参画社会とがん教育というのは、別々のテーマと思われるかもしれませんが、この方が言われているのは、がんで治療を続けるのが無駄だと思われても生活することが大事ということです。自分らしく生きる力に置き換えて考えると、このがん教育も男女共同参画社会というのを、男性目線の部分を具体的に入れてもらえば繋がっていくと思いました。また、がんになると三つの生活基盤が崩れるということがあります。一つは死の恐怖と治療の苦しさが生活基盤の崩壊で、精神的な面と経済的な面が非常に大きな問題となります。特に生活基盤の崩壊が、男女平等の中で一番、家庭に直撃するところがあると思うので、彦田さんもご自分の家庭やそれ以外の例をお持ちではないかと思います。また、この方がすごいなと思ったことは、がんになったことが我が家にとって不幸だととらえるのではなくて、家族の一人ひとりが成長できるチャンスととらえると話してみえたことです。このあたりは、家庭内でのそれぞれの家族の役割もそうですし社会におけるまだ整っていない部分がたくさんあると思うので話してもらいたいです。

(参加者) お話を伺ってすごく良い方を推薦していただき話が聞けるとわかりました。内容はいいのですが、タイトルだけは、がんとかん教育というよりも人生というふうにした方がよいのではないのでしょうか。彼女の人生は、生活があり死もあり、全部含めたものを出していただけたらと思います。

(参加者) タイトルは「がんと人生」が何もかもひっくるめた形となるため、一番良いと思います。

(座長) そうすると、チラシには「がんと人生」と入っているのがいいですか。また、プロフィールの中にがん教育に携わってみえることを入れると背景がわかると思います。あと、男女共同参画の言葉をどこかに入れてもらえるとありがたいです。「男女共同参画社会・がんと人生」でどうですか。タイトルは大事で、市の広報にも出してもらえるので、それを見て、来てもらえるようにしたいです。友だちを誘うフレーズとして何か浮かぶものはありますか。

(参加者) がんと健康について考えると、なんか言葉が抜けている気がします。「暮らしはどうする、人生はどうする、仕事はどうする」は意味があり、いいと思います。

(座長) 私は、こだわって「人生を」にしました。「暮らしは」「仕事は」「人生は」と3つ並べたくないと思い「人生を」とした方が、残ると思いました。それは私の見解ですが、もし差し支えなければ3つ目は「を」にした方が、暮らしと仕事は現実ですが、人生はちょっと抽象的なことなので「を」とした方が、目的とか目標になるかなと思うので「を」にしてもいいですか。

(参加者) もし使うとしたら「どうする人生は？」にしたらどうですか。

(座長) これをサブタイトルにするか、吹き出しみたいにするとか、いろいろ手はあると思います。がん

はひらがなで漢字ではないですよ。

(参加者) 男女共同参画という言葉は、認知度が低いと思うので出した方がいいと思います。「がんと人生」については、私の身内にはいませんが、知り合いにはいっぱいいて、がんだから死ぬのではなく、がんになってどう生きていくかがすごく大事なことだと思うので、話を聞きながらイメージが沸いてきました。ただ、がんの特化しているだけで、がんではなくてもどんな病気であっても、同じことが起こってくると思います。確かにがんは、皆さんがよく知っている病気でわかりやすいし、実際に若くてもなるので、生活そのものとか人生そのものを考えるには、すごく深いところで考えるので、いいなと思いました。多分、講師の方は、もともとポジティブな方という感じがして、がんになってもいろんなことができていますが、誰でもできるわけではありません。みんな助けを求めていると思います。だから、具体的な案としての話が聞きたいと思うことと、私は個人的にはがんになりたくないと思うので、ならないためにはどうしたらいいかという話も聞きたいです。人生を考える材料として、男女共同参画として女性になった場合に、男性、職場、子供たちがどうサポートしていくかということも関わってくると思います。これは多分、女性だけではなく、男性がなくても一緒です。だからその人生とか生き方という言葉を入れると、いろんな人が来てくれるのではないのでしょうか。誘うときに、私や家族にがんの人がいないから行かないという話ではないと思います。

(座長) では、がんの特化しなくてもいいのであれば、この下を残したままで、「男女共同参画社会のがんと生きる」とか、「病気と生きる」とかっていうタイトルで、下に括弧してプラス「暮らしはどうする」「仕事はどうする」「人生をどうする」というのはどうですか。

(参加者) がんは入れた方がいいと思います。がんを全部まとめて、がんを取り巻く男女共同参画社会というような形にしたら、がんを頭に持っていき、そのあとに、男女共同参画というものをもちくと、どっちも生きてくると思います。取り巻くという言葉自体は非常にあやふやな言葉ですが、あやふやの方がいいような気もして、その下に 3 つの言葉をいれると内容がわかるのではないのでしょうか。

(座長) 「がんと生きる男女共同参画社会」として下に3つの言葉があるとフォローができます。他になにかあれば、ご意見いただくということでよろしいですか。事務局の方もよろしいのでしょうか。

(参加者) タイトルは、レンジャーの気持ちとか講演者にとって、講演の流れや組み立てがあるので、それをガラッと変えないといけなくなると、かえって失礼かなと思いますが、男女共同参画社会とがんという言葉は必要だと思います。私どもの見た感じで言うと、がん教育というところとすごく医学的なことが出てくるわけではなくて、私みたいなものでも理解できる範囲内ということがわかりました。

(座長) 確認ですが、毎年、第一部が講演会で、第二部が皆さんとの意見交換会ですよ。おおよそ 1 時間半の中で、講師の方が 50 分ぐらいお話して、そのあと皆さんとの意見交換で私が「皆さん意見ありますか」とかいう進行係をする立場だと思うのですが、今年度もその形でよろしいですか。事務局もそのような形で、お考えでしょうか。

(事務局) 講師の先生にこれからお話をして、どれぐらいの時間の講演か、確認させていただくので、その辺の時間にもよります。

(座長) ちなみに〇〇さんがご覧になったYouTubeは何分ぐらいでしたか。

(参加者) 全部アップされていないのでわかりません。

(参加者) 今のお話を聞いて「がんと生きる男女共同参画」これを演題として、内容として家族はどうするかとか、それから本人はどうするかとか、今ここに書いたように「仕事はどうするの」「暮らしはどうするの」「人生をどうするの」という話をしてもらえば、彼女も、がんになって家族とどう暮らしたかとか、自分も最終的に一般社団法人リンコスという会を作ったりして、がんに関しての話を皆で討論会のような形で話し合いをするのです。なので、こういう話をした後、皆さんから、去年のようにがんに関して聞きたいことがあったらという話を聞いてもらっても、彼女もいろんなところで講演をしてみえますから、子供やお年寄りの話も聞いていると思いますので、最後の方で交流会みたいな

ことをしてもらってもいいのではないかと思います。

(座長) せっかくの機会ですからこの講演会は、話を聞きっ放しということではなく、皆さんと交流する時間を作る形で毎年進めてきましたので、委員の方のご希望であれば伝えていただきたいです。時間は、休憩なしで1時間半。市民講演会のテーマは今でいくと、第一部は彦田さんがお話しされ、第二部は交流会としたらどうでしょうか。もし、このテーマで話してくださいという説明、講師は違うテーマでもいいけます。それは経験があります。だから講演会全体のテーマは、がん教育と私みたいな形で、彦田さんのテーマを第一部において、第二部は、参加者との交流会とすると収まると思いました。そんな形でいかがですか。事務局で講演会全体のテーマを読んでもらっていいですか。

(事務局) 「がんと生きる 男女共同参画社会」その下に「暮らしはどうする?」「仕事はどうする?」「人生をどうする?」これが講演会全体のテーマということでよろしいでしょうか。

(座長) このキャッチフレーズでたくさんの人を誘って来ていただければと思います。では、議事(2)の内容は承認されました。

(3)その他

(座長) 事務局より説明願います。

(事務局) 資料に沿って説明

- ①「第2次瑞浪市人権施策推進指針（後期）」について
- ②リーフレット「デートDVを知ろう」について
- ③「就労・子育てに関する講座（キャリア☆ナビ）及び相談」について
- ④SOGI（性的指向及びジェンダーアイデンティティ）の多様性に関する理解と尊重を目指して
- ⑤「ちょっといい話」募集事業について
- ⑥人権書道展募集事業について

(座長) ありがとうございます。〇〇委員、人権施策推進指針審議会の委員お疲れ様でした。何か感想があればどうぞ。

(参加者) 難しすぎて、私の力不足で全然もう役に立たず、ちょっと申し訳なかったです。

(座長) 何かご質問ありますか。

〈 間 〉

ご質問がないようですので(3)は承認されました。これで議事に関してはすべて終了しましたので事務局に進行をお返しいたします。

(課長) 渋谷座長、スムーズな議事の進行、誠にありがとうございました。

これで議事の方はすべて終了いたしました。

5. 学習会

第1部：『瑞浪市の健康づくりの支援について』

担当：瑞浪市健康福祉部健康づくり課 日比野係長

第2部：「講演会に向けて」全体ディスカッション

担当：渋谷座長

(課長) では、第二部の講演会に向けて、講演会に向けての全体のディスカッションを行いたいと思いますので、再び渋谷座長に進行をお願いします。

(座長) 講演会に向けてのディスカッションということで、テーマを決めるところ何かプラスアルファすることがあればご意見をお聞かせください。今の話で言うと、保健師さんたちがたくさん来てくれるといいですね。市役所の中に応援団がいたらうれしいです。健康づくりがテーマということで、ご協力い

ただけるということはいかがでしょうか。次回の会議はいつですか。

(事務局)7月の下旬から8月上旬ぐらいを予定しています。

(座長)その頃には、チラシはできるのでしょうか。

(事務局)今後の予定ですが、皆さんそれぞれで広報して下さるにあたって、2回目の会議前までにはチラシを作成したいと思っております。

(座長)どうぞよろしくお願いいたします。

(参加者)市の取り組みで歩いたりするとポイントがつくような事業はありますか。瑞浪市でウォーキング等をしてポイントがたまるようなことがあればいいかもしれません。10月10日に市民の方が来られたときにアピールできたらいいと思います。

(座長)とてもいいアイデアありがとうございます。男女共同参画やジェンダー平等のことは、担当課だけでやっているのではなく、全庁的に連携してやっていくことが大事です。どんどん変化してきていて、それをメインストリーム化と言うのですが、それぞれの課が男女共同参画の視点で施策をしていく段階になってきていますので、そういう意味では今回の連携はとても新しい取り組みだと実感しています。

(参加者)今日は和やかに皆さんの意見が聞けて良かったと思います。男女共同参画社会推進会議の雰囲気はずっと良くなってすごうれしく思います。また今のお話で、健康は歯から目から全部繋がっているということで、それが全部あってからの人生100年ということを最近すごく市の方もアピールしてくださったので、今日のお話はすごく参考になります。

(座長)これからの時代に向けて他人事ではないです。健康に関しては全員が当事者です。

(参加者)私も年をとったので、これからは本当に自分の好きなこと、やりたいことをやれば、それが自分の健康になることをこの間教えていただきました。それで自分が若返えるのです。今日の日比野係長さんの話もすごく参考になりましたし、ありがたい会だと思い、長くこの会議に携わらせていただきすごく幸せです。ありがとうございました。

(座長)ありがとうございます。幸せだという言葉をいただいたので、何かあればまた事務局にご連絡くださればと思います。お忙しい中、お時間を割いてくださりありがとうございます。こちらでディスカッションは終了し事務局にお渡しします。

(課長)渋谷座長、ありがとうございました。みなさん、お疲れ様でした。本日の会議、全体を通してのご質問やご意見等、ございませんか。次回の会議は、7月の下旬から8月の上旬で調整をしたいと思います。後日委員の皆さまにご案内させていただきますのでご出席いただきますようよろしくお願いいたします。それでは、これをもちまして、「令和8年度 第1回瑞浪市男女共同参画社会推進会議」を閉会します。長時間にわたりお疲れさまでした。お帰りになる前に、お手元のアンケート用紙にご記入願います。記入された方より提出の上、順次お帰りください。ありがとうございました。

《閉会》